

まちづくりに関する方針

(中西条地区)

まちづくりに関する方針とは、地区の将来のあり方を示すもので、この方針を守っていくことにより、暮らしやすい魅力的な集落づくりを行っていこうとするものです。

【計画の名称】		中西条地区まちづくり計画
【目標・テーマ】		～自然豊かで楽しいまち 中西条～ 草谷川の自然にあふれる遊歩道や特徴的な地形を活かして歩いて楽しい中西条地区をつくる。
【目標人口】		633人（平成5年のピーク時の人口(推計による)）
【課題と対応方針】	1. 集落環境の保全に関する事項	建築物の高さ：戸建住宅を中心とした集落環境を目指すため建築物の高さは10m以下とする。 汚水対策：新築時における合併浄化槽の設置を目標とする。
	2. 集落景観の保全・形成	外壁：色相R・YR系/彩度6以下、Y系/彩度4以下、その他/彩度2以下。色相Nは認める。土、木、レンガ等の自然系素材を用いる場合はこの限りではない。自然系素材には、人工材及び人工的な着色によって自然の色彩を再現した材料は除く。 垣・柵：道路に面して垣または柵を設ける場合、すべて生垣にすることを目標とする。
	3. 公共施設の整備を図る取組み	道路 ・有効幅員4mを確保するため、道路整備協定等に基づき、中心線から2.17mのセットバック及び道路改良等を行ない、道路を拡幅整備する事を目標とする。（まちづくり構想図の橙線。） ・中央集落西側の道路は、道路改良により水路部分を埋めることで道路の拡幅を目標とする。（まちづくり構想図の黄線。） ・市道については、道路改良により歩道の整備を図ることを目標とする。（まちづくり構想図の茶線。） ・線路を渡ることのできない道路については、踏切で渡れるように整備を図る。（まちづくり構想図の灰線。）
	4. その他の施設の整備を図る取組み	・グラウンドの整備を図る。（防災公園） ・子供の遊べる公園 ・コンビニ、店舗の誘致を目指す。 ・山裾の水路の保全を図る。 ・歩道の設置を目指す。 ・愛宕神社の参道の改善を図る。（石段の設置等）
	5. 安全安心対策	・防犯灯の増設を図る。 ・まちづくり協議会によるパトロールの推進。 ・消防ホースの増設を図る。
	6. 歴史を活かす取組み	・昔から続く行事、活動の継承・発展。
	7. 自然を活かす取組み	・ナガエミクリの保全、螢の保全を図る。 ・山裾を基本に桜の回廊整備を図る。 ・中池、久保池周辺に散策路の設置を行う。
	8. 地縁者の範囲	小学校区の範囲とする
【附図(まちづくり構想図、まちづくり区分図)】		

※目標人口とは、新規居住者の住宅区域の範囲を算定する基準となる過去最大人口です。